

第 3 次刈谷市地域福祉計画 平成 29 年度までの取組状況まとめ

(計画期間：H27～H31)

1 障害のある人等への理解の促進

民間企業の方などを招いた障害者施設への見学、実習や地域住民向けの認知症サポーター養成講座の開催、小中学校における福祉に関する授業などを通して、「障害」や「障害のある人」に対する理解を深めた。

【現状の課題、懸案事項】

- ◆幅広い世代への普及啓発
- ◆多様な障害に対する理解促進

2 ボランティアの育成支援

ボランティアに関する相談支援、参加促進のための普及啓発、ボランティア活動に対する補助金の交付などを行うことで、ボランティア活動の活性化に寄与した。

【現状の課題、懸案事項】

- ◆ボランティアの高齢化、担い手不足の解消

3 地区社会福祉協議会の設立支援

地区社会福祉協議会の設立を支援し、南部地区社会福祉協議会の設立に繋げた。(北部設立済)

【現状の課題、懸案事項】

- ◆中部地区社会福祉協議会の設立

4 サロンづくりの推進と生活支援サービス等の構築

補助金の交付や高齢者サロンと子育てサロンのサロン交流会を行うなど、サロン活動を支援することで、地域におけるつながりを深めた。

【現状の課題、懸案事項】

- ◆高齢者や子育てに関する交流型サロン活動などの活性化

5 地域における避難行動要支援者等の支援と見守り体制の充実

避難行動要支援者名簿を作成し、避難支援等関係者に提供した。また、配食サービスの実施や事業者と市、社会福祉協議会における見守り協定の締結により、ひとり暮らし高齢者などの見守り体制の充実を図った。

【現状の課題、懸案事項】

- ◆避難行動要支援者名簿の活用促進(平常時からの避難支援対策)
- ◆避難行動要支援者と災害時における協力者との関係強化

6 権利擁護の推進

判断能力が十分でない人を支援するため、成年後見支援センターを設立し、本人の権利や財産などを保護する体制を整備した。また、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように成年後見制度の普及啓発を行った。

【現状の課題、懸案事項】

- ◆成年後見制度の認知度向上と制度の利用促進